

STOP! 転倒災害



例えば、こんなことはありませんか？

＼転倒災害の典型的なパターン／

滑り

ぬれた床面で滑って…

掃除道具を取りに行ったところ、食品製造機械の周りの床が滑りやすい上に水が残ったままの状態であったため、そこに滑って転倒した。



つまずき

台車につまずいて…

バックヤードで商品の検品中に応援要請があり、店内のレジに向かおうとしたところ、入り口近くにあったロールボックスパレットに足を引っ掛けて転倒した。



踏み外し

階段を踏み外して…

ダンボールを抱えて階段を下りていたときに足元が見えず、階段を踏み外して転倒した。



重篤事故発生

令和4年9月6日(火)に、剪定作業中に転落し頭部を打ち死亡するという重篤事故が発生しました。事故発生時は、1人作業中でヘルメットも未着用でした。

- 会 員：71歳、男性
- 作業内容：庭木の剪定作業
- 事故概要：剪定作業中、脚立から転落し頭部を強打
- 事故原因：ヘルメットを持参していたが未着用
- 容 態：急性硬膜下血腫(7日後死亡)
- 作業環境：1.2mほどの通路に脚立を設置して作業をしていた樹木は3本、脚立は発注者から借用

『安全点検の日』の制定

左記の重篤事故の発生を受け、毎月6日を「安全点検の日」と制定しました。

各センターにおいて、会員・役職員が一体となり、事故防止対策の徹底や安全意識の再確認をお願いします。

センター毎の取り組みとはなりますが、「自分の身は自分で護る」という安全意識の徹底を図り、事故防止の徹底に努めてください。

※重篤事故発生日が「6日」だったことから、「毎月6日」と設定したものです。

熱中症予防のために

暑さを避ける!

扇風機やエアコンで
温度をこまめに調節



遮光カーテン、すだれ、
打ち水を利用



外出時には日傘や
帽子を着用



天気の良い日は日陰の
利用、こまめな休憩



吸湿性・速乾性のある
通気性のよい衣服を着用



保冷剤、氷、冷たいタオル
などで、からだを冷やす



! 『熱中症警戒アラート』発表時には、外出をなるべく控え、暑さを避けましょう

熱中症の症状



! 応急処置をしても症状が改善されない場合は医療機関を受診しましょう

暑さの感じ方は、人によって異なります

その日の体調や暑さに対する慣れなどが影響します。
体調の変化に気をつけましょう。

室内でも熱中症予防!

暑さを感じなくても室温や外気温を測定し、扇風機や
エアコンを使って温度調整するよう心がけましょう。

高齢者や子ども、障がいをお持ちの方は、特に注意が必要!

熱中症患者のおよそ半数は65歳以上の高齢者です。
高齢者は暑さや水分不足に対する感覚機能が低下しており、
暑さに対するからだの調整機能も低下しているので、注意が必要です。
また、子どもは体温の調節能力がまだ十分に発達していないので気を配る必要があります。

こまめに
水分補給

